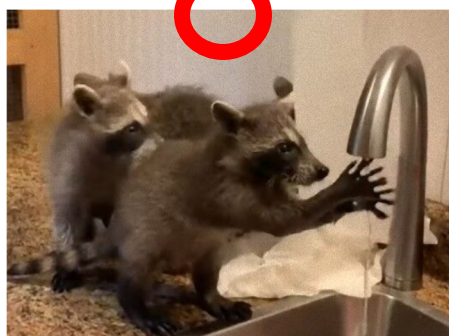


大阪のCOVID-19第2波が始まった！

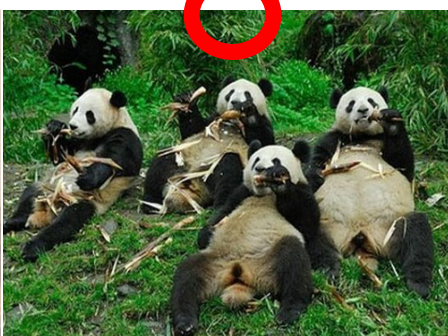
新型コロナウイルスSARS-CoV-2が日本に上陸してからすでに6か月以上が経過し、職員の皆さんも疲れながらも自粛生活をされていることと思います。しかし、このみなさんの努力にもかかわらず7月に入ってから大阪府内でも新規感染者の急増がみられており、第2波に突入したと考えられます（図）。

第1波の4月7日に出された緊急事態宣言による社会活動の停止により、2か月程度でいったん終息に向かいましたが、今回の第2波では前回のような強制的な措置はなされていません。7月24日には149人と過去最高の陽性者数を記録しており、社会活動が通常通り継続されている以上は前回のような短期間での終息は期待できないかもしれません。

全国の複数の大学病院や医療機関の例をみると、予定入院患者が急に発熱してコロナ陽性となっていたり、職員が会食など院外で感染したことに気づかずクラスター化したりしています。当院でも同様のケースがいつでも起こりえますが、そのリスクを少しでも減らすために以下のことを再度徹底していただくようお願いします。



病室入室前後には
必ず手指衛生



マスクを外す食事時には
人と向かい合わない



大人数での会食や向かい合っ
ての飲み会は控える

一般の方も感染対策に敏感になっている中で、医療者として一歩進んだ「New Normal」を率先して行っていきましょう。

図：大阪府のSARS-CoV-2陽性者数の推移

